

学則変更の趣旨等を記載した書類

ア 学則変更（収容定員変更）の内容

入学定員を95名から98名に変更

収容定員を639名から642名に変更

（第2年次編入学定員（10名）の変更は無い。）

イ 学則変更（収容定員変更）の必要性

我が国では、医学部出身の基礎医学研究者が減少傾向にあり、これを放置することによる将来の国際競争力の低下や医学教育レベルの低下が危惧されている。大阪大学では、他大学に先駆けて、学生を一定期間基礎医学系教室や社会医学系教室で研究に専念させる教育プログラム「基礎医学講座配属」を導入するなど、基礎医学研究者の養成に力を注いできた。

また、医学科のほかにも、生命機能研究科、微生物病研究所、免疫学フロンティア研究センターなど、附属の研究施設が充実し、学生への指導体制が整っている。そこで、我が国のかかえる上記課題に対応するため、研究医枠3名の定員を増加させ、早期から基礎医学研究を体験させ、学部・大学院を連携させた特別教育プログラム（MD 研究者育成プログラム）の参加者を確保し、医師養成だけでなく、世界をリードする研究能力と国際的視野を兼ね備えた医学研究者養成を目指す。

ウ 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

(ア) 教育課程の変更内容について

収容定員変更に伴う既設科目の変更は行わず、卒業要件も変更しない。MD研究者育成プログラムの履修科目も変更は行わないため、変更前と同等の教育課程が担保される。

(イ) 教育方法及び履修指導方法の変更内容について

講義に関して、指導方法および実施方法に変更は行わないため、変更前と同等の教育方法及び履修指導方法が担保される。

(ウ) 教員組織の変更内容について

教員組織の変更は行わないため、変更前と同等の教員組織が担保される。

(エ) 大学全体の施設・設備の変更内容について

大学全体の施設・設備の変更は行わないため、変更前と同等の施設・設備が担保される。

エ 2以上の校地において教育研究を行う場合の具体的計画

【校地ごとの収容定員数を定めていない理由】

各校地（吹田・豊中）で教育研究を行うための十分な施設・設備が確保されているため、校地ごとの収容定員は定めていない。

【適切な基幹教員の配置状況】

別紙「2以上の校地において教育研究を行う場合のそれぞれの校地ごとの教員の勤務状況」参照。医学部の専門教育は吹田地区で行うため、基幹教員の多くは吹田地区に所属している。

【教員の移動への配慮】

校地間の移動に利用できる無料の学内バスを運行している。

【学生への配慮】

1年次～2年次の夏学期までは豊中地区で教養教育を中心に実施し、2年次の秋学期以降は吹田地区で専門教育を実施する。校地間の移動が少なくなるように年次進行に合わせたカリキュラムとしている。校地間の移動に利用できる無料の学内バスを運行している。

【施設設備等の配慮】

各校地で学生が利用できる講義室、演習室、実験実習室、図書館、学生自習室等を設置している。

令和7年度
医学部入学定員増員計画

阪大統括経第11号
令和6年8月22日

文部科学省高等教育局長 殿

国立大学法人大阪大学
学長 西尾 章治郎

「地域の医師確保等の観点からの令和7年度医学部入学定員の増加について（令和6年8月7日文部科学省高等教育局長・厚生労働省医政局長通知）」を受けて、標記に関する資料を提出します。

<連絡先>

責任者連絡先	職名・氏名	国立大学法人大阪大学統括理事オフィス経営デザインチームマネージャー 早川 香
	TEL	06-6879-7158（直通）
	FAX	06-6879-7166
	E-mail	toukatsu-edrs@office.osaka-u.ac.jp

大学名	国公立
大阪大学	国立

1. 現在（令和6年度）の入学定員（編入学定員）及び収容定員

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
97	10	0	644

↑
(収容定員計算用)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6	計
(ア) 入学定員	100	100	100	100	97	97	594
(イ) 2年次編入学定員	10	10	10	10	10	0	50
(ウ) 3年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
計	110	110	110	110	107	97	644

2. 本増員計画による入学定員増を行わない場合の令和7年度の入学定員（編入学定員）及び収容定員

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
95	10	0	620

↑
(収容定員計算用)

	R7	R8	R9	R10	R11	R12	計
(ア) 入学定員	95	95	95	95	95	95	570
(イ) 2年次編入学定員	10	10	10	10	10	0	50
(ウ) 3年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
計	105	105	105	105	105	95	620
(臨時的な措置で減員した場合、その人数)							

3. 令和7年度の増員計画

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
98	10	0	623

↑
(収容定員計算用)

	R7	R8	R9	R10	R11	R12	計
(ア) 入学定員	98	95	95	95	95	95	573
(イ) 2年次編入学定員	10	10	10	10	10	0	50
(ウ) 3年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
計	108	105	105	105	105	95	623
(臨時的な措置で減員した場合、その人数)							

増員希望人数 3

↑
(内訳)

(1) 地域の医師確保のための入学定員／編入学定員増（地域枠）	0
(2) 研究医養成のための入学定員／編入学定員増（研究医枠）	3
計	3

2. 研究医養成のための入学定員増について

増員希望人数

(1) 令和7年度研究医養成のための入学定員増について 大学が講ずる措置

※令和6年度までの取組を継続して行う場合には、必要に応じて見直しを行ったうえで、当該取組も記載すること。

1. コンソーシアムの形成

①以下をご記入ください。複数のコンソーシアムを形成している場合には、コンソーシアムごとにご記入ください。

	連携大学	取組の概要（1～3行程度）	（連携先大学が研究医枠による増員を行っている場合） 連携大学との役割分担（※1）	開始年度
No.1	東京大学、京都大学、名古屋大学	MD研究者育成プログラムの推進、研究成果を全国大学間リトリート等で全国の医学部と定期的に共有、シンポジウムなどで研究医養成プログラムの広報活動を実施している。	四大学は水平的関係にある。特に役割を分担せず、常に協働で管理・運営している。	H21以前
No.2	愛媛大学・岡山大学・徳島大学・奈良県立医科大学・三重大学・山口大学	西日本医学生学術フォーラムを年次開催し、複数大学の医学部在籍学生による研究発表・情報交換を行っている。	幹事校を毎年交代で決定し、幹事校がその年度の管理・運営を担当している。	H28
No.3				

2. 特別コース（※）の設定

（※）「特別コース」とは、学部・大学院教育を一貫して見通した研究医養成のための重点的プログラムを指します。

①特別コースの概要について、5～6行程度で簡潔にご記入ください。その際、平成22年度～令和6年度に実施した取組で継続して行うもののほか、令和7年度に新たに行おうとする取組についてもご記入ください。

（選抜の時期、授業内容、特別コースに入ることにより大学院進学が促進される仕組み（MD-PhD、単位の先行履修、論文認定、キャリア支援の取組など）

MD研究者育成プログラムは、1年次から6年次までの6年一貫のプログラムで、従来の医学科のカリキュラムはそのまま受講し、その時間外を利用して基礎医学研究を実践する。2年次及び3年次に参加者選考を行った後、研究室に配属し本格的な研究指導が開始される。卒業後は、博士課程入学試験で英語試験免除の特例を設けて基礎医学系大学院進学を促している。研究医養成の観点から増員数の3倍以上の履修者を継続的に確保することに努めている。また、自由な研究スタイルを望む学生への対応として、2022（令和4）年度より「学生研究員コース」を導入している。

（参考：記入例）

MD-PhDコースや▲年次での大学院進学を促すとともに、○年次に選抜を行い、「○○」という科目等を開講して～～を学んでいる。学部・大学院での一貫した研究を促すため、△△、□□を行っている。またキャリア支援として、～～を実施している。令和7年度からは、■ ■を新たに開始するなど、～～を図ることとしている。

②研究医養成の一貫した特別コースについて、以下をご記入ください。併せて、概要がわかる資料をご提出ください。

選抜の時期（※1）	コースの名称	年次	募集定員（※2）	大学院への進学時期（※3）	開始年度	備考	
選抜入試							
○	特定の学年次に希望者を募集	MD研究者育成プログラム・学生研究員コース	1～6年次	制限無し。各学年10名程度を予定	・卒後、臨床研修後に進学。 ・卒後、臨床研修中に進学。	H21以前	R3から卒後、臨床研修中に進学できるコースを設けた。 R4から自由な研究スタイルを望む学生向けに「学生研究員コース」を導入した。1年次に募集を行うが、それ以外でも随時募集を行う予定である。
	その他（備考欄に詳細を記入）						

（※1）複数段階に分けて選抜を行っている場合には、該当する全てに○をご記入ください。

（※2）最低人数を定めている場合には、「○名以上」という形でご記入ください。

（※3）特別コースの学生の大学院進学時期について全てご記載ください。（例：5年次（MD-PhD）／卒後直後に進学／卒後、臨床研修後に進学／卒後、臨床研修と並行して進学）

③研究医養成のための選抜入試について、以下をご記入ください。

研究医養成のために特別な入試を実施しているか。

×

（「○」を選択した場合）以下をご記入するとともに、募集要項の写しをご提出ください。

名称	入試区分	募集人数		選抜方法（※1）	開始年度	備考
		うち臨時定員分				
合計		0	0			

（※1）貴大学において、PRのために作成した文書（リーフレット、ホームページ、テレビ、新聞、雑誌等）に記載の内容

（貴大学において作成予定の学生募集要項に記載予定の内容）をご記入ください。

※複数種類の選抜を行っている場合には、それぞれご記入ください。

※該当がない場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

④研究医養成のための教育内容（正規科目）について、以下をご記入ください。また、参考としてシラバスの写しをご提出ください。

対象学年	講義・実習名	対象者 (※1)	必修／選択の別		講義／実習 の別	単位数	開始年度
			研究医コース 学生	その他の 学生			
1年	基礎医学体験 実習	全員	必修	必修	実習	1	H27
1年～6年	MD研究者育成 プログラム	研究医コー ス学生	選択	選択	実習	18	H21以前
3年	基礎医学講座 配属	全員	必修	必修	実習	8	H21以前
5年	研究室配属	全員	必修	必修	実習	5	R1

(※1) 対象者は、当該講義・実習を受講可能な学生を「研究医コース学生」「全員」のうちから選択ください。(研究医コース学生の希望者のみの場合は、対象者を「研究医コース学生」、必修／選択の別を「選択」とご記載ください。)

※該当がない場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

⑤大学の正規科目以外で、研究医養成プログラムがあれば、その内容をご記入ください。

対象学年	プログラム名	対象者 (※1)	期間	プログラムの概要（1～2行程度）	開始年度

(※1) 対象者は、当該講義・実習を受講可能な学生を「研究医コース学生」「全員」のうちから選択ください。

※該当がない場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

⑥特別コースに関する取組のうち、以下の項目に関連するものについてご記入ください。なお、必要に応じて内容がわかる資料をご提出ください。

(項目：専用の入試枠の設定による選抜の実施、学生が研究活動を実施するために必要となる研究費の予算措置、学生の学会発表、論文発表の機会の設定及び指導体制の構築、臨床研修により研究活動が中断されることのないようにするための配慮、研究医となった際の常勤ポストの確保、海外での研修の機会(1か月以上))

(項目)	概要(1~2行程度)	開始年度
専用の入試枠の設定による選抜の実施	専用の入試枠の設定による選抜の実施は行っていない。 特定の学年次に希望者を募集する。	H21以前
学生が研究活動を実施するために必要となる研究費の予算措置	岸本国際交流奨学金により、学生による学会発表および国内外での研究留学の旅費を補助。大学主催の学部学生対象の自主研究奨励事業による研究費としての予算措置(自主研究奨励事業はH12より開始)。	H28
学生の学会発表、論文発表の機会の設定及び指導体制の構築	配属先教室において、研究手法に加え学会などでのプレゼンテーション・ディスカッション方法、また論文の作成方法についても指導し、逐次これらの発表を推奨する。	H23
臨床研修により研究活動が中断されることのないようにするための配慮	臨床研修医が基礎系大学院に進学するためのコースとして、大阪大学医学部附属病院に1つの専用コースを設けるとともに、2つのコースにて社会人大学院の適用を認めている。	R3
研究医となった際の常勤ポストの確保	基礎系医学研究者を対象とした常勤教育職(特別枠)を設定し採用している。	H28
海外での研修の機会(1か月以上)	①3年次基礎医学講座配属期間中1~3ヶ月の海外研究留学、②6年次選択実習期間中1~2ヶ月の海外研究留学	H22

※該当がない場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

⑦上記②~⑥以外に、研究医養成の特別コースに関する取組等があれば、簡潔にご記入ください。

(令和6年度以前から継続する取組を含む)(1~2行程度)

取組の名称	取組の概要(1~2行程度)	開始年度

※該当がない場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

⑧特別コースの履修者の確保状況について、以下をご記入ください。

	R4	R5	R6	直近3年間の平均
人数(名)	8	14	11月決定予定	11

※当該年度の新規履修者のみを計上してください。

3. 奨学金の設定

①卒業後一定期間の研究医としての従事を要件とする奨学金の設定について、以下をご記入ください。

複数の奨学金を設定している場合には、それぞれについてご記入ください。

	名称	設定主体	給付/貸与の別	支給対象	募集人数	選抜の有無	支給期間
No.1	MD研究者育成プログラム奨学金	大阪大学医学部医学科	給付	特別コース生のみ	各学年2名	有	学部学生3年～6年（4年間）
No.2							
No.3							

(続き)

	支給額 (例: 200,000)		返還免除要件	開始年度	備考
	月額	総支給額			
No.1	備考欄に記載あり	400,000	給付型であるが以下に該当する場合、奨学金の返還を求める。 ・奨学金の給付を取り消されたとき。 ・MD研究者育成プログラムを修了後、正当な理由なく大学院（基礎医学系教室）に進学しなかったとき。 ・大学院修了後、正当な理由なく研究科又は学部長が認める教育研究機関（以下「研究科等」という。）の基礎医学研究に従事しなかったとき。 ・研究科等の基礎医学研究に従事し、その期間が奨学金の受給期間に相当する期間に達しなかったとき。	R2	3年次以上の学生に対して、年額100,000円を支給するため、最大で1人あたり4年間×100,000円 = @400,000円の支給となる。
No.2					
No.3					

※該当がない場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

(2) 研究医養成拠点として相応しい実績

①-1. 継続的に大学院生を輩出してきた客観的な実績について、以下をご記入ください。

(入学年度)	R4	R5	R6	直近3年間の平均
基礎・社会系大学院進学者数〔A〕	35	38	47	40
臨床系大学院進学者数〔B〕	138	148	130	138.6666667

(博士課程修了年度)	R3	R4	R5	直近3年間の平均
〔A〕の修了者数〔C〕	9	13	15	12.33333333
〔B〕のうち、基礎・社会学系の論文（又は共著論文）を執筆した修了者数〔D〕	85	49	61	65
合計	94	62	76	77.33333333

①-2. その他、継続的に大学院生を輩出してきた客観的な実績があれば、簡潔にご記入ください。（1～3行程度）

②-1. 継続的に研究医を輩出してきた客観的な実績について、以下をご記入ください。

(博士課程修了年度)	R3	R4	R5	直近3年間の平均
〔C〕〔D〕のうち、基礎・社会学研究分野の就職者数	9	14	27	16.66666667
〔C〕〔D〕のうち、臨床系に就職したが基礎・社会学研究に従事する者等の数（※1）	8	7	6	7
合計	17	21	33	23.66666667

（※1）一度臨床系（基礎系以外）に進んだものの実態としては研究に従事している又は従事する見込みがある者の数。

（例：臨床医として働きながら研究活動を行っている者、常勤ポストではないが大学の身分を有し研究活動を行っている者、現在臨床医として勤務しているが将来的に研究に従事する意思を大学が確認している者）

②-2. その他、継続的に研究医を輩出してきた客観的な実績があれば、簡潔にご記入ください。（1～3行程度）

③大学教育改革の支援に関する補助事業の採択実績等

※必要に応じて内容がわかる資料をご提出ください。

採択事業名	採択年度	概要（1～3行程度）
卓越大学院プログラム 「生命医科学の社会実装を推進する卓越人材の涵養」	H30年度 (H30～ R6年度)	医歯薬生命分野において国際競争に打ち勝って優位性のある研究成果を挙げるための「研究実践力」と、自らの研究成果を迅速にまた効果的に社会に還元していくための「社会実装力」の涵養を図り、博士人材を育成する。

④他大学と比較した際に研究医養成拠点として相応しいと考えられる客観的な実績（科学研究費採択率等）

※必要に応じて内容がわかる資料をご提出ください。

概要（1～3行程度）
・科学研究費採択率は、2023年度は44.22%（全国平均は27.5%）となっており、高い採択率となっている。

（3）過去に研究医枠による入学定員増を実施した場合の令和6年度における状況

①過去に入学定員増を実施した際に計画していた研究医養成に関する取組について、その有効性が高いことを確認している旨を、確認方法等とともにご記入ください。

（例：第三者による評価、学内委員会による評価）

<p>・2020年度受審した、医学教育分野別評価において「大阪大学医学部医学科ではMD研究者育成プログラムに多くの学生が参加していることは高く評価できる。」との評価を受けた。なお、「高く評価できる」という表現は、我が国において1～2校程度にしか付与されない表現である。</p> <p>・MD研究者育成プログラム所属学生の学会発表、学会誌への掲載などは継続的に実施されており、有効性の高い取組であることが確認できる。カリキュラム委員会（学内委員会）において、総括を行い有効性が高いことを確認している。同時に問題点も洗い出し、プログラムを発展的に見直した結果、自由な研究スタイルを望む学生への対応として、2022年度より「学生研究員コース」を導入している。</p>

大学別医学部入学定員一覧

大学名	属性 (国公私)	R6年度定員	本増員計画による 入学定員増を行わ ない場合の令和7 年度の入学定員	R7年度 増員数	R7年度 定員 (計画)
大阪大学	国立	97	95	3	98

大学名	令和6年度 定員	本増員計画 による入学定 員増を行わな い場合の令 和7年度の 入学定員	令和7年度増員計画			令和7年 度 定員 (計画)	令和7年度増員計画
							教育内容の概要
			増員数	都道府県ごとの内訳			
大阪大学	97	95	地域枠	0		0	0
						0	
						0	
						0	
						0	
						0	
			研究医枠	3			98

基本情報

時間割コード／Course Code	051147
開講区分(開講学期)／Semester	春～夏学期
曜日・時間／Day and Period	金5
開講科目名／Course Name (Japanese)	基礎医学体験実習
開講科目名(英)／Course Name	Basic Medicine Experience
定員／Capacity	0
ナンバリング／Course Numbering Code	05MEDI2Q000
授業形態／Type of Class	実習科目
単位数／Credits	1.0
年次／Student Year	1年
担当教員／Instructor	渡部 健二,河盛 段,佐田 遼太
メディア授業科目／Course of Media Class	非該当

※外部公開用シラバスについて

このページは、外部公開用に、教室等の一部項目が非表示になっています。
ログイン可能なユーザは、KOANからシラバス参照することで、当該項目が表示されます。

※メディア授業科目について

授業回数の半数以上を、多様なメディアを高度に利用して教室等以外の場所で行う授業を「メディア授業科目」としていません。

学部学生が「メディア授業科目」を卒業要件に算入できるのは60単位が上限です。
なお、非該当の場合であっても、メディアを利用した授業を実施する場合があります。

基本項目

履修対象／Eligibility

授業担当教員一覧

詳細情報

授業サブタイトル／Course Subtitle	配布資料を参照すること。
開講言語／Language of the Course	日本語
学習方法／Learning Methods	聴講・視聴：講義・教材・実演を視聴して学ぶ（例：講義の対面受講、オンデマンド教材視聴） 体験・実践：体験・実践等の行動ならびにそれに対するフィードバックにより学ぶ（例：問題演習、機器等を使う実験、学内外実習、スポーツ等の実技、課題解決型学習、インターンシップ）
授業の目的と概要／Course Objectives	合計8週間の基礎医学教室による研究紹介を通じて、医学部基礎医学教室がどのような研究を行っているか概要を理解し、6週間は各研究室に配属され基礎医学研究とはどういうものであるかを現場で体験する。
学習目標／Learning Goals	1 医学部における基礎医学研究の意義を理解し、説明できる。
履修条件・受講条件／Requirements, Prerequisites	
出欠席及び受講に関するルール／Attendance and Student Conduct Policy	
授業計画／Class Plan	時限：曜日： 題目： 4週間連続の講義の後、前半実習（教室配属①）を2週間実施、その後4週間連続の講義を行い、2週間の後半実習（教室配属

②)。最後の2週間は、希望者が希望講座で2週間の教室配属実習③に参加する。

担当教員：

授業時間外学習：実習で得た興味のあるテーマをさらに自分で調査して、理解を深めていただきたい。

教科書・指定教材／Textbooks
参考図書・参考教材／Reference

設定しない。
設定しない。

成績評価／Grading Policy
※学習目標の番号にカーソルをあてると、その学習目標の全文が表示されます。

評価方法／
Evaluation
Methods
学習目標1
評価割合
(%) /
Allocation
of Marks

成績評価に関する補足情報／Additional Information on Grading

実習への参加態度（出席状況や実習への貢献、積極的な取り組み姿勢など）およびレポートにより可否を判定する。
レポートでは自身の体験から感じた基礎医学研究の意義、本実習の感想を述べること。

特記事項／Special Note

実務経験のある教員による授業科目／Course Conducted by
Instructors with Practical Experience

医師としての診療実績を有する教員が、基礎医学研究に係る実習指導を行う。

授業担当教員

教員氏名／Instructor Name	ふりがな／Name (hiragana)	所属・職名・講座名／Affiliation, Title, Course
データがありません		

学生への注意書き

基本情報

時間割コード／Course Code	05A011
開講区分(開講学期)／Semester	通年
曜日・時間／Day and Period	他
開講科目名／Course Name (Japanese)	MD研究者育成プログラム
開講科目名(英)／Course Name	Medical Doctor Scientist Training Program
定員／Capacity	0
ナンバリング／Course Numbering Code	05MEDI2Q000
授業形態／Type of Class	講義科目,実習科目
単位数／Credits	18.0
年次／Student Year	1,2,3,4,5,6年
担当教員／Instructor	渡部 健二,河盛 段,佐田 遼太
メディア授業科目／Course of Media Class	非該当

※外部公開用シラバスについて

このページは、外部公開用に、教室等の一部項目が非表示になっています。
ログイン可能なユーザは、KOANからシラバス参照することで、当該項目が表示されます。

※メディア授業科目について

授業回数の半数以上を、多様なメディアを高度に利用して教室等以外の場所で行う授業を「メディア授業科目」としていません。

学部学生が「メディア授業科目」を卒業要件に算入できるのは60単位が上限です。
なお、非該当の場合であっても、メディアを利用した授業を実施する場合があります。

基本項目

履修対象／Eligibility	医学科 1 年次～6 年次
------------------	---------------

授業担当教員一覧

詳細情報

授業サブタイトル／Course Subtitle	研究テーマは、学生が所属する研究室で指示される。
開講言語／Language of the Course	日本語
学習方法／Learning Methods	調査: 本や論文から情報を収集したり、フィールドワークでデータを収集・分析して学ぶ (例: 先行研究整理、フィールドワーク) 体験・実践: 体験・実践等の行動ならびにそれに対するフィードバックにより学ぶ (例: 問題演習、機器等を使う実験、学内外実習、スポーツ等の実技、課題解決型学習、インターンシップ) 発表: 執筆、プレゼンテーション、作品制作等により学ぶ (例: レポート作成、プレゼンテーション、ポスター発表、作品制作、ポートフォリオ)
授業の目的と概要／Course Objectives	詳細は医学科HPを参照すること。 将来の基礎医学研究者を育成することを目的とし、学生が希望する基礎医学系研究室に所属して研究活動を実践し、研究者としての基本的能力を養う特別プログラムである。
学習目標／Learning Goals	1 ・研究課題を解決する方法を自ら考え、研究計画を作成できる。 ・研究手技を理解し、実行できる ・研究結果を英語でまとめ、発表できる。 ・研究課題に関連した英文論文を読み、理解できる。
履修条件・受講条件／Requirements, Prerequisites	医学科学生のうち、本プログラムへの参加を希望し、受け入れ教室からの了承がえられたもの。

出欠席及び受講に関するルール / Attendance and Student Conduct Policy

授業計画 / Class Plan

時限: 曜日:
題目:

所属教室で授業計画が作成される、年度初めに研究進捗状況の確認を行う

担当教員:

授業時間外学習: 詳細は各所属研究室から指示されるが、研究テーマに関する論文を積極的に読んで、研究への理解を深めること。

教科書・指定教材 / Textbooks
参考図書・参考教材 / Reference

所属研究室から指示される。
所属研究室から指示される。

成績評価 / Grading Policy

※学習目標の番号にカーソルをあてると、その学習目標の全文が表示されます。

評価方法 /
Evaluation
Methods
学習目標1
評価割合
(%) /
Allocation
of Marks

成績評価に関する補足情報 / Additional Information on Grading

- 1) 原則として6年次までの医学研究継続実績があること。
- 2) 6年次に公開の研究発表を行い、所属研究室の教授から修了判定が得られること。

特記事項 / Special Note

実務経験のある教員による授業科目 / Course Conducted by
Instructors with Practical Experience

医師としての診療経験、かつ基礎医学研究の実務経験のある教員がプログラム全般を統轄、指導する。

授業担当教員

教員氏名 / Instructor Name	ふりがな / Name (hiragana)	所属・職名・講座名 / Affiliation, Title, Course
データがありません		

学生への注意書き

基本情報

時間割コード／Course Code	05A008
開講区分(開講学期)／Semester	集中
曜日・時間／Day and Period	他
開講科目名／Course Name (Japanese)	基礎医学講座配属
開講科目名(英)／Course Name	***
定員／Capacity	0
ナンバリング／Course Numbering Code	05MEDI2Q000
授業形態／Type of Class	実習科目
単位数／Credits	8.0
年次／Student Year	3年
担当教員／Instructor	渡部 健二,河盛 段,佐田 遼太
メディア授業科目／Course of Media Class	非該当

※外部公開用シラバスについて

このページは、外部公開用に、教室等の一部項目が非表示になっています。
ログイン可能なユーザは、KOANからシラバス参照することで、当該項目が表示されます。

※メディア授業科目について

授業回数の半数以上を、多様なメディアを高度に利用して教室等以外の場所で行う授業を「メディア授業科目」としていません。

学部学生が「メディア授業科目」を卒業要件に算入できるのは60単位が上限です。
なお、非該当の場合であっても、メディアを利用した授業を実施する場合があります。

基本項目

履修対象／Eligibility 医学科3年次

授業担当教員一覧

詳細情報

授業サブタイトル／Course Subtitle	各所属教室で研究テーマが与えられる。
開講言語／Language of the Course	日本語・英語
学習方法／Learning Methods	読解: 本や論文を読解して学ぶ (例: 論文要約、ウェブ情報の読解) 討論: 学生同士や教員との間で質疑応答や意見交換を行うことで学ぶ (例: ペア・グループディスカッション、オンラインでのチャット、論文個別指導) 調査: 本や論文から情報を収集したり、フィールドワークでデータを収集・分析して学ぶ (例: 先行研究整理、フィールドワーク) 発表: 執筆、プレゼンテーション、作品制作等により学ぶ (例: レポート作成、プレゼンテーション、ポスター発表、作品制作、ポートフォリオ)
授業の目的と概要／Course Objectives	学生が希望する基礎医学研究室で研究に専念することで、将来の研究者としての基本的能力を涵養する。
学習目標／Learning Goals	1 ・研究課題を解決する方法を自ら考え、研究計画を作成できる。 ・研究手技を理解し、実行できる ・研究結果をまとめ、発表できる。 ・研究課題に関連した英文論文を読み、理解できる。
履修条件・受講条件／Requirements, Prerequisites	
出欠席及び受講に関するルール／Attendance and Student Conduct Policy	

時限：曜日：

題目：

事前に教育訓練（CLE）と研究倫理（APRIN）を受講すること、初日午前中にイントロダクションとして研究倫理および文献検索方法についての授業を行い、午後から実習開始となる

担当教員：

授業時間外学習：研究テーマに関する論文をしっかりと読み、より理解を深めること。

授業計画／Class Plan

60

教科書・指定教材／Textbooks

設定しない。

参考図書・参考教材／Reference

設定しない。

成績評価／Grading Policy

※学習目標の番号にカーソルをあてると、その学習目標の全文が表示されます。

評価方法／ Evaluation Methods	レポー ト・論 文	発表
学習目標1	○	○
評価割合 (%) / Allocation of Marks	50%	50%

成績評価に関する補足情報／Additional Information on Grading

研究発表およびレポート内容をそれぞれ50点（合計100点）で評価する。そのうえで、実習への姿勢、参加態度を総合的に判断して、最終的な可否を判定する。。

特記事項／Special Note

実務経験のある教員による授業科目／Course Conducted by
Instructors with Practical Experience

診療実績のある教員が、基礎医学研究に係る実習指導を行う。

授業担当教員

教員氏名／Instructor Name

ふりがな／Name (hiragana)

所属・職名・講座名／Affiliation, Title, Course

データがありません

学生への注意書き

基本情報

時間割コード／Course Code	05A010
開講区分(開講学期)／Semester	冬学期
曜日・時間／Day and Period	他
開講科目名／Course Name (Japanese)	研究室配属
開講科目名(英)／Course Name	Research project
定員／Capacity	0
ナンバリング／Course Numbering Code	05MEDI4Q002
授業形態／Type of Class	実習科目
単位数／Credits	5.0
年次／Student Year	5年
担当教員／Instructor	渡部 健二,山本 洋一,河盛 段
メディア授業科目／Course of Media Class	非該当

※外部公開用シラバスについて

このページは、外部公開用に、教室等の一部項目が非表示になっています。
ログイン可能なユーザは、KOANからシラバス参照することで、当該項目が表示されます。

※メディア授業科目について

授業回数の半数以上を、多様なメディアを高度に利用して教室等以外の場所で行う授業を「メディア授業科目」としていません。

学部学生が「メディア授業科目」を卒業要件に算入できるのは60単位が上限です。
なお、非該当の場合であっても、メディアを利用した授業を実施する場合があります。

基本項目

履修対象／Eligibility	医学科5年次
------------------	--------

授業担当教員一覧

詳細情報

授業サブタイトル／Course Subtitle	各所属教室で研究テーマを設定する。
開講言語／Language of the Course	日本語 聴講・視聴：講義・教材・実演を視聴して学ぶ（例：講義の対面受講、オンデマンド教材視聴） 読解：本や論文を読解して学ぶ（例：論文要約、ウェブ情報の読解） 討論：学生同士や教員との間で質疑応答や意見交換を行うことで学ぶ（例：ペア・グループディスカッション、オンラインでのチャット、論文個別指導） 協同：ペアやグループで行う協同作業を通して学ぶ（例：グループによるポスター制作） 調査：本や論文から情報を収集したり、フィールドワークでデータを収集・分析して学ぶ（例：先行研究整理、フィールドワーク） 体験・実践：体験・実践等の行動ならびにそれに対するフィードバックにより学ぶ（例：問題演習、機器等を使う実験、学内外実習、スポーツ等の実技、課題解決型学習、インターンシップ） 発表：執筆、プレゼンテーション、作品制作等により学ぶ（例：レポート作成、プレゼンテーション、ポスター発表、作品制作、ポートフォリオ） 医学研究
学習方法／Learning Methods	
授業の目的と概要／Course Objectives	基礎医学を修め、さらに1年間の臨床実習を経験した段階で基礎研究または臨床研究に参加することで、研究者としての基本的能力を涵養する。

学習目標/Learning Goals

- ・ 研究計画を作成できる
- ・ 得られたデータを解析できる。
- 1 ・ データをまとめて発表、考察、討議ができる。
- ・ 医学研究の意義を理解し、説明できる。

履修条件・受講条件/Requirements, Prerequisites

設定していない。

出欠席及び受講に関するルール/Attendance and Student Conduct Policy

授業計画/Class Plan

時限: 曜日:
題目: 研究倫理教育

事前に研究倫理 (APRIN) を受講すること、授業計画は所属教室で作成される

1

担当教員:

授業時間外学習: 研究テーマに関する論文を積極的に読んで、研究への理解を深めること。

教科書・指定教材/Textbooks

必要な文献、教材は各教室から指示する。

参考図書・参考教材/Reference

必要な文献は各教室で指示する。

成績評価/Grading Policy

※学習目標の番号にカーソルをあてると、その学習目標の全文が表示されます。

評価方法/ Evaluation Methods	レポ ト・論 文	発表 発表
学習目標1	○	○
評価割合 (%) / Allocation of Marks	50%	50%

成績評価に関する補足情報/Additional Information on Grading

3年次基礎医学講座配属と同様に、研究発表およびレポート内容を各50点 (合計100点) で評価し、そのうえで実習への参加態度・姿勢などを総合的に判断して合否を決定する。

特記事項/Special Note

実務経験のある教員による授業科目/Course Conducted by Instructors with Practical Experience

臨床及び基礎医学研究において実績のある教員が研究指導を行う。

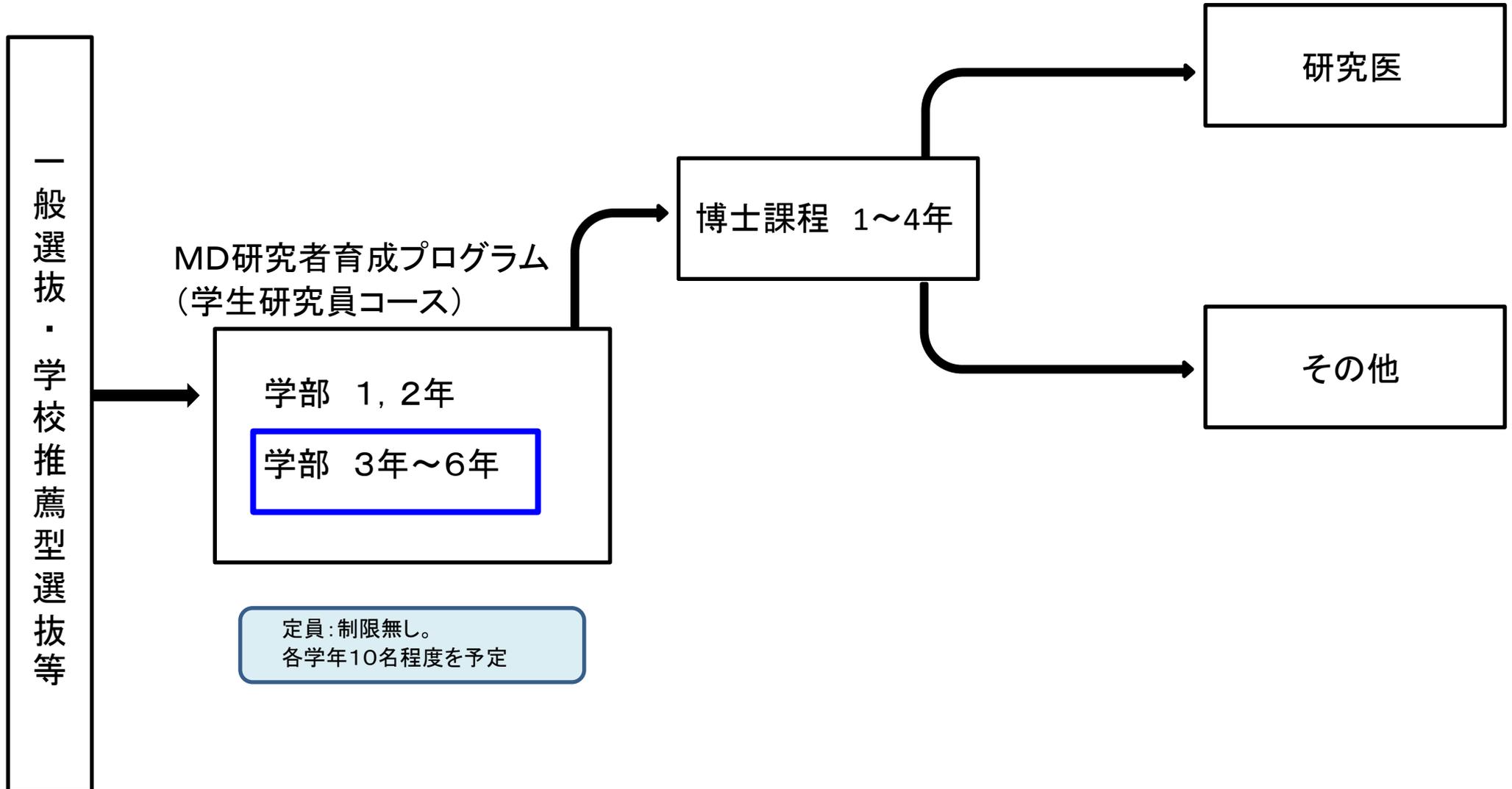
授業担当教員

教員氏名/Instructor Name	ふりがな/Name (hiragana)	所属・職名・講座名/Affiliation, Title, Course
データがありません		

学生への注意書き

R6研究医枠定員数:2名
増員開始年度:2010(H22)
R7増員希望数:3名

※青枠は奨学金給付がある期間



(b)実績

	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)
履修者数 ※当該年度の新規履修者	—	12	10	10	19	14	15	16	8	7	6	4
	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)									
履修者数 ※当該年度の新規履修者	4	8	14	※MD研究者育成プログラムの2年次履修者を計上。 ※2022年度より「学生研究員」コース含む。								

(入学年度)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)
基礎・社会系大学院進学者数【A】 ※括弧内は自大学出身者	46 (4)	54 (4)	47 (1)	39 (2)	50 (4)	44 (2)	52 (6)	54 (11)	46 (4)	61 (7)	49 (7)	59 (9)
臨床系大学院進学者数【B】 ※括弧内は自大学出身者	111 (44)	124 (48)	138 (56)	126 (59)	143 (61)	147 (51)	139 (59)	128 (43)	128 (53)	129 (52)	132 (53)	139 (62)
(入学年度)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)								
基礎・社会系大学院進学者数【A】 ※括弧内は自大学出身者	46 (12)	35 (8)	38 (6)	47 (11)								
臨床系大学院進学者数【B】 ※括弧内は自大学出身者	140 (48)	138 (53)	148 (64)	130 (49)								

(b)実績

(博士課程修了年度)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)
【A】の修了者数	6	6	3	11	4	2	3	12	10	7	9	15
【B】のうち、基礎・社会学系の論文(又は共著論文)を執筆した修了者数	44	49	31	71	106	76	53	45	71	91	50	55
合計	50	55	34	82	110	78	56	57	81	98	59	70

(博士課程修了年度)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)
【A】の修了者数	9	13	15
【B】のうち、基礎・社会学系の論文(又は共著論文)を執筆した修了者数	85	49	61
合計	94	62	76

(博士課程修了年度)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)
基礎・社会学研究分野の就職者数	2	3	4	6	1	0	1	9	3	5	13	19
臨床医のうち、基礎・社会学研究に従事する者等の数	15	5	6	9	2	5	3	2	7	8	7	9
合計	17	8	10	15	3	5	4	11	10	13	20	28

(博士課程修了年度)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)
基礎・社会学研究分野の就職者数	9	14	27
臨床医のうち、基礎・社会学研究に従事する者等の数	8	7	6
合計	17	21	33